

令和8年度 「外部有識者会議」報告書



令和8年6月

(書面開催：審議期間 令和8年5月29日(金)～6月10日(水))

福井工業高等専門学校

目 次

I. 福井工業高等専門学校外部有識者会議規則……………	1
II. 令和8年度福井工業高等専門学校「外部有識者会議」実施要項 （会期、開催方法、委員及び資料について）……………	3
III. 令和6年度外部有識者会議での提言への対応の概略（報告）に対する 令和8年度外部有識者会議での意見聴取結果について……………	4

I. 福井工業高等専門学校外部有識者会議規則

平成16年5月13日規則第21号

改正 平成16年 6月 3日規則第23号 平成19年 2月 1日規則第 1号
平成21年 3月30日規則第 2号 平成27年 7月22日規則第18号
令和元年12月10日規則第29号 令和 2年 3月26日規則第17号

(設置)

第1条 福井工業高等専門学校（以下「本校」という。）に、広く学外有識者の意見を聴くための組織として、福井工業高等専門学校外部有識者会議（以下「会議」という。）を置く。

(任務)

第2条 会議は、本校の教育研究目標・計画、自己評価、その他本校の運営に関する重要事項について、校長の諮問に応じて審議・評価し、及び校長に対して助言又は勧告を行う。

(組織)

第3条 会議は、10人以内の委員で組織する。

2 委員は、本校教職員以外の者で高等専門学校に関し広くかつ高い識見を有する者のうちから校長が委嘱する。

3 委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じた場合の後任の任期は、前任者の残任期間とする。

(議長)

第4条 会議の議長は、委員の互選により定める。

(会議の開催)

第5条 会議は、校長が招集する。

2 会議は、3年に1回以上開催するものとする。

3 会議は、必要に応じて関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(守秘義務)

第6条 委員は、その役割を遂行する上で知り得た情報を、正当な理由なく漏えいしてはならない。

(事務)

第7条 会議の事務は、総務課が処理する。

附 則

この規則は、平成16年5月13日から施行する。

附 則（平成16年6月3日改正）

この規則は、平成16年6月3日から施行する。

附 則（平成19年2月1日改正）

この規則は、平成19年2月1日から施行し、平成18年10月1日から適用する。

附 則（平成21年3月30日改正）

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成27年7月22日改正）

この規則は、平成27年7月22日から施行し、同年4月1日から適用する。

附 則（令和元年12月10日改正）

この規則は、令和元年12月10日から施行する。

附 則（令和2年3月26日改正）

この規則は、令和2年3月26日から施行する。

Ⅱ. 令和8年度福井工業高等専門学校「外部有識者会議」実施要項

1. 会期等

書面審議（メール及び郵送）

令和8年5月29日（金）～6月10日（水）

2. 開催方法

前回（令和6年度）開催時の委員からの提言事項について、令和7年度の自己点検・評価報告書をもとに、本校の対応状況を委員に確認いただくとともに、評価及び意見照会を実施する。

3. 委員名

（高等教育機関の教員等及び経験者）

鎌土 重晴（長岡技術科学大学長）

（高等教育機関の教員等及び経験者）

米沢 晋（福井大学副学長（社会共創、企画戦略、広報担当））

（本校の所在する地域の教育関係者）

竹澤 宏保（福井県中学校長会会長（明倫中学校長））

（地方自治体等研究機関の研究者等）

村上 哲彦（福井県工業技術センター所長）

（産業界の有識者）

加藤 團秀（鯖江商工会議所会頭）

（産業界の有識者）

加藤 大紀（信越化学工業（株）武生工場長）

（報道機関の有識者）

山本 道隆（（株）福井新聞社常務取締役）

（本校関係者）

野嶋 祐記（福井高専同窓会（進和会）会長）

4. 書面審議資料

- ・令和7年度自己点検・評価報告書（実績報告編）

<https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2026/06/R7zikotenkenziko.pdf>

- ・令和7年度自己点検・評価報告書（自己評価編）

<https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2026/05/R7zikohyouka.pdf>

- ・令和6年度外部有識者会議における提言への対応の概略（報告）及び令和8年度外部有識者会議の意見聴取について（回答シート）

Ⅲ.令和 6 年度外部有識者会議での提言への対応の概略（報告）に対する 令和 8 年度外部有識者会議での意見聴取結果について

令和 8 年 5 月 29 日から 6 月 10 日を会期として、8 名の委員構成とし、メールや文書での回答をいただく形式での外部有識者会議を開催した。

実施内容としては、前回令和 6 年度に開催された外部有識者会議でいただいたご提言に対し、福井高専の対応を自己点検・評価報告書に取りまとめ、その対応について、評価・コメントをいただくとともに、その他についてもご意見をいただいた。

意見聴取の結果について、以下のとおり報告する。

1. 【令和 6 年度外部有識者会議でのご提言】

「改組後の学科名はインパクトがある。変えるべきところは変える一方、本流（根っこ）として残すべきところは残す。」

【学校側の対応（抜粋）】

- 教務・入学試験関係（実績報告編 P.47）：学科改組に合わせ、3つのポリシーを改正した。
- 教務・入学試験関係（実績報告編 P.52）：令和 8 年度入試倍率は 1.12 倍（前年度 1.03 倍）に増加した。
- 総務・企画関係（実績報告編 P.77）：令和 8 年度からの改組に伴う改革に着手し、将来構想専門部会での審議結果を最終決定した。改組案に関する広報活動は、総務・企画委員会及び入試広報委員会が協働して取り扱い、中学校やマスコミに展開した。

【令和 8 年度外部有識者会議コメント】

- これらの対応が良い。
⇒委員 8 名が選択
- これらの対応で不十分である。
⇒委員の選択なし
- その他のコメント
 - ・原級留置率、不進級率はわずかであるが増加傾向であり、さらなる改革を進めていただきたい
 - ・中学校の教員にも理解を深める機会を積極的に取り組んでほしい。

2. 【令和6年度外部有識者会議でのご提言】

「今後は益々少子化が課題となる。良い学生（特に女子生徒）の確保には、地元の学校、保護者を巻き込んだ取組が必要である。」

【学校側の対応（抜粋）】

○教務・入学試験関係（実績報告編 P.51）：オープンキャンパスは、スタンプラリー形式で校内の学科（系）や施設を自由に回るキャンパスウォークを5月に開催し、各学科（系）の説明を順に見学して回るキャンパスツアーを9月に開催した。本校学生のプレゼンテーション、ならびに本校の在學生とOB、OGによる交流懇談会を通じて、中学生とその保護者に福井高専の教育の特長と良さを知ってもらった。

○教務・入学試験関係（実績報告編 P.51）：10月から11月にかけて福井県、滋賀県および石川県各地で入試説明会を開催した。休日にも開催し、中学生208名（男子：161名、女子：47名）（県内：172名、県外：36名）、保護者235名、教員46名（塾講師数4名を含む）が参加した。さらには中学校で開催される高校説明会に12校参加し、本校のPRに努めた。

○教務・入学試験関係（実績報告編 P.51）：女子学生用のロードマップを描いたパンフレットを配布した。

○キャリア支援関係（実績報告編 P.80）：女子学生向けのキャリア形成講座を実施した。

○キャリア支援関係（実績報告編 P.87）：本校同窓会「進和会」の協力のもと、講師に株式会社デンソーから本校卒業生の伊部賢人氏を招き、先輩講座「新入社員の心得～迷ったらやってみろ～」を対面にて実施した。

○管理運営関係（実績報告編 P.114）：キャンパスウォークにて、福井高専を卒業した高専女子のメッセージ集「FUKUI-KOSEN」Voice of Graduates を女子中学生向けに配付している。

○総務・企画関係（実績報告編 P.78）：③「ちちんぷいぷいひらけごま」など、地域の小中学生を対象とするイベントに積極的に協力・参加した。

【令和8年度外部有識者会議コメント】

これらの対応が良い。

⇒委員8名が選択

これらの対応で不十分である。

⇒委員の選択なし

その他コメント

・学生の確保のために様々な活動を展開しており評価ができる。

・（同窓会の協力のもと）、高専OB、OGの子息、子女（いわゆるリピーター）に

働きかける取り組みを考えてみてはどうか。

3. 【令和6年度外部有識者会議でのご提言】

「高専の卒業生には、これまで同様、専門性ととともに即戦力・実践力を身に付けることが大切である。一方で、文理融合やコースの変更等を通じて、柔軟性も育てていただきたい。また、卒業生の地域定着も重要である。地域に目を向けていただきたい。」

【学校側の対応（抜粋）】

○総務・企画関係（実績報告編 P.77）：令和6年度末にK I Sの認定を受け、また令和8年度に受審する機関別認証評価についても、認証評価専門部会と自己点検・評価委員会が連携し、準備を進めている。改組には「文理融合」を盛り込んでいる。

○令和7年度計画（実績報告編 P.46）：県が推進する未来協働プラットフォームふくい推進事業ならびに県内大学（工学部系）県内就職促進事業等に積極的に応募・参加した。

○キャリア支援室（実績報告編 P.89）：学生が県内の企業を知る機会にもするため、本校との関連が深い県内企業が数多く加盟している地域連携アカデミア会員企業の全てに参加の案内を行い、アカデミア会員企業からは96社が参加した。

【令和8年度外部有識者会議コメント】

これらの対応で良い。

⇒委員8名が選択

これらの対応で不十分である。

⇒委員の選択なし

その他コメント

・学生と地域企業との連携も図っており評価ができる。

4. 【令和6年度外部有識者会議でのご提言】

「情報発信（広報）が重要である。体制を整備いただきたい。」

【学校側の対応（抜粋）】

○教務・入学試験関係（実績報告編 P.51）：福井県・滋賀県・石川県の中学校延べ233校を訪問し、現状を説明することによって、中学校教員の高専に対する理解度とプレゼンスの向上に努めた。また、本校ホームページから学校紹介および各学科（系）の紹介動画をYouTubeにて配信し、わかりやすい発信に努めた。

○総務・企画関係（実績報告編 P.77）：総務・企画委員会は、SNSも含めた広報活

動（入試広報を除く。）に関する事項等を所掌する。令和7年度は、将来構想専門部会、事業専門部会及びダイバーシティ推進専門部会の3専門部会体制で委員会の目標達成に取り組んだ。これまでであった広報・外部評価専門部会は解消し、広報に関しては親委員会である総務・企画委員会が直接受け持つこととした。

【令和8年度外部有識者会議コメント】

- これらの対応が良い。
⇒委員8名が選択
- これらの対応で不十分である。
⇒委員の選択なし
- その他コメント
 - ・学校関係者への周知やYouTubeによる配信などで情報発信を行っており評価できる。
 - ・予算に限りはあると思うが、親世代に届くTVCMや中学生を含めた若手に届くYouTubeCMの導入も検討してはどうか。

5. 【令和6年度外部有識者会議での提言】

「福井工業高等専門学校の親しみやすい名称(サブタイトル)を考えていただきたい。」

【学校側の対応（抜粋）】

○全般：高等専門学校は機構本部と連携し、高専（KOSEN）ブランドのプレゼンスを高めるよう努めている。これに伴い、海外にもKOSENが進出している状況である。

【令和8年度外部有識者会議コメント】

- これらの対応が良い。
⇒委員7名が選択
- これらの対応で不十分である。
⇒委員1名が選択
 - ・機構本部との連携に加えて、福井高専の特徴や強みを生かした地域初のブランド構築にも努めて頂きたい。
- その他コメント
 - ・県内では福井高専の名称でプレゼンスを得ていると感じているが、さらによい案があれば工夫をして欲しい。

6. 「自己点検・評価報告書（実績報告編、自己評価編）」について、その他

コメントがございましたらご記入ください。

・教員、職員が協働し、学生とも連携しながら、教育、研究、社会連携、国際連携、学生指導・支援等、多岐にわたる業務を効率的にこなし、良き方向に向けて進められているように思えます。特に、改組等の周知徹底と広範な広報活動により女子生徒を含めた入学志願者の大幅増を達成できたことは高く評価できます。本当ご苦労様です。まだ、道半ばのこともあろうかと思いますが、常に検証・改善方策の策定・実行を繰り返し、少しずつ改良してゆくように頑張ってください。期待しています。

・項目5.【令和6年度外部有識者会議での提言】の「福井工業高等専門学校親しみやすい名称(サブタイトル)を考えていただきたい。」については、高専全体としてもそうですが、福井工業高等専門学校としての名称を求めているのだらうと思います。ただ、そうなりますと、簡単に決められるものでもありませんので、項目に対しては「これらの対応で良い」として判断させてもらっています。いろいろな日々の活動の中で、将来またそうした名称が出て来て、定着が図られていくようになるようであれば幸いと思います。

・ふくいオープンイノベーション推進機構(FOIP)に参画し積極的な活動を行っていただき感謝いたします。(P.203)今後とも県内企業との共同研究の提案などについて活動をいただきたく、よろしく願いいたします。自主学習スペースが増加したため、図書館の利用者や入館者数が横ばい状況であるとのことでした。(P.191)本を読むことで基礎学力が向上するが、本をあまり読まない学生が増えているとのこと、本を読むことの大切さを教えて欲しいと思います。

・高専の生徒さんの自由な発想には常に感心させられています。その自由な発想を引き続き積極的に伸ばしていただけるよう我々企業としても、インターシップ等のプログラムを広げて参りますので生徒さんに是非、卒業後の社会環境をできるだけ早いタイミングに身近に感じていただく機会も設けていただき、在学中の学習のテーマ探しなどに効果的に活用いただけたらと思います。興味をもったテーマに対し、学びに没頭いただく事は本当に大切ですので引き続き、学生が本当に興味を持ったテーマに対し自由に学ぶことができる環境作りも重ねてよろしくお願い致します。

・実技実習で安全には十分注意をはらっていただいていると思うが、一旦大きな事故が生じると高専の大きなマイナスイメージにつながってしまう。3-1-②でも取り上げられているが、安全への配慮を十分に講じていただきたい。

・地域総合経済団体である鯖江商工会議所といたしましては、地域企業の課題解決や技術力向上、さらには次世代を担う人材育成において、福井工業高等専

門学校の優れた知見と学生の皆様の活力は大変貴重な存在です。今後も教育の質の向上と学校運営の改善に向け、外部有識者を活用し、自己点検・評価に真摯に取り組まれ、専門技術者の育成を担う帰校が強みを伸ばし、それを活かす形で産業界と連携を深めて頂きたいと考えております。今後も何卒よろしくお願ひ申し上げます。